

東邦電気株式会社の 「感震機能付ブレーカスペース接続器具」が 行政現場にトライアル導入されました

横浜市では、中小企業の成長・発展に向けたチャレンジを後押し・応援するため、販路開拓支援事業（※）を実施しています。

このたび、令和5年度に認定された東邦電気株式会社の「感震機能付ブレーカスペース接続器具」について行政現場でのトライアル導入が決定し、納品されました。導入された商品は、行政現場で1年間試用した後、使用感や意見等を納入事業者へフィードバックします。

1 導入された認定商品・企業

(1) 商品名

感震機能付ブレーカスペース接続器具（ESC06A 型）

(2) 企業名・代表者名

東邦電気株式会社（神奈川区羽沢町 1638 番地 1）

代表取締役社長 伊藤 一晃

(3) 製品概要

震度5強相当以上の地震を感知したときに電気を遮断し、地震による電気火災を防止する商品。住宅用分電盤の電流制限器スペースに設置して使用することができ、省スペースで設置可能。

製品ホームページ:

<https://tohodenki.net/>



↑ 認定商品を導入している様子

2 トライアル導入先

所属	水道局事業推進部資産活用課
導入趣旨	発災時の電気火災を予防する目的で、局所有の建物の住宅用分電盤に設置する。
導入台数	7台
納品日	令和6年3月5日

※販路開拓支援事業とは・・・

優れた商品を保有する事業者を公募し、横浜市新技術開発等支援事業審査会を経て、認定事業者を決定します。認定された商品が行政現場で試用の希望があり、条件が一致した場合は、地方自治法施行令第167条の2第1項第4号の規定（随意契約）に従い購入し、試用します。販路開拓時の販売実績となるほか、試用した際の意見等をフィードバックすることで、更なる商品開発材料となります。

お問合せ先

（販路開拓支援事業に関すること）経済局ものづくり支援課長 黒柳 純子 Tel 045-671-3839

（認定商品に関すること）東邦電気株式会社 営業部 Tel 045-610-3591

※本件は、横浜経済記者クラブに同時発表します。